

つよく・やさしく・心をこめて

三勲小だより



平成29年9月26日(火)

<全校朝会の話>

2学期は全校で掃除に力を入れて取り組むことにしています。最初の全校朝会では次のような話をしました。

おはようございます。

始業式で浅野先生が「2学期はみんなで掃除を頑張りましょう。」というお話をされましたね。

いよいよ今日は2学期最初の掃除の日です。夏休みの間にいろいろなところにほこりがたまっています。みんなで一生懸命掃除をして、学校をきれいにしましょうね。



さて、掃除をすると、したところがきれいになるのはもちろんですが、校長先生はもう一つきれいになるものがあると思います。何だと思いませんか。・・・それは、自分の心です。掃除は汚いところを掃いたり拭いたりするのですから、楽しいばかりではありませんね。汚れたぞうきんをゆすいだり何回もバケツの水を替えたり机やイスを運んだりするのはたいへんです。でも、一生懸命掃除をしていたら掃除をすることが楽しくなってくるのです。そして、どンドン動いてもっともっときれいにしたくなるのです。これは、本当に一生懸命掃除をしたことがある人でなければ分かりません。

そうやって一生懸命掃除した人には終わった後も楽しいことがあります。それは、自分がきれいにしたところを見ることです。自分が頑張ったからこんなにきれいになったと思ったりとてもうれしくて、一生懸命やってよかったととてもすがすがしい気持ちになります。

また、一生懸命に掃除をした人は普段の生活でも、自分が掃除していないところをきれいにしてくれた人にととうという気持ちをもったり、いろんなところをなるべく汚さないよう気をつけようとしたりするなど、いい心が育っていきます。

このように掃除は、掃除をしたところだけでなく、した人の心をきれいにして、人を成長させるのです。

さあ、今日から掃除が始まります。チャイムが鳴ったらすぐに掃除場所に行って、時間いっぱい黙って一生懸命に掃除をしましょう。きっと掃除場所も皆さんの心もぴかぴかになることでしょう。先生方にも頑張っている姿をしっかり見ていただきましょうね。

今日は掃除の話をしました。これで校長先生のお話を終わります。

<口腔衛生優良校表彰>

このたび、三勲小学校は、昨年度一年間、歯の健康管理に留意し、その成績が優れているとのことで、岡山市内歯科医師連合会・岡山市教育委員会・岡山市学校保健会より表彰されました。三勲小学校では、普段の保健指導と併せて、保健委員会のむし歯予防などについての活動も活発に行っています。

28年度の岡山市全体のむし歯被患率は21%で、三勲小学校は、16.9%でした。また治療率も、岡山市全体に比べてとても高くなっていました。ちなみに、今年度の三勲小学校のむし歯被患率は素晴らしいことに10.7%です。10人に9人はむし歯がないということになります。

歯は一生使うものであり、食べ物を咀嚼して栄養が身体に行き渡るようにするだけでなく、唇や舌の動きを助けて正しい発音ができるようにしたり、奥歯を噛みしめることで全身の筋肉のバランスを整えて瞬発力を発揮させたりするなどといった重要な働きをしています。この受賞を機に、これまで以上に、子どもたちに歯の大切さを伝え、健康な歯を維持していこうという気持ちを育てていきたいと考えています。



<三勲祭り>

9月13日(水)は子どもたちが楽しみにしていた「三勲祭り」でした。今年度は「ひと味ちがうぜ 今年のマツリ」というテーマで、4年生以上の児童が各クラス2店ずつお店を出し、招待した幼稚園児と1・2・3年の児童がお店を回って楽しく遊びました。

当日は、お客さんを楽しませようとクラスの友達と力を合わせて頑張ったり、違う学年の児童と一緒に仲よくお店を楽しんだりするなど、子どもたちのすてきな姿がたくさん見られました。

お店を一から考えていくことは、子どもたちにとって、とても楽しいことですが、同時に、自分と違う意見を受け入れたり、多様な意見をまとめたりするということが必要になってきます。また、自分から進んで取り組むことも大切です。当日だけでなくこのお祭りの計画、準備の時からきっと子どもたちは多くのことを学んだことだと思います。



<三勲小学校のホームページ>

三勲小学校では、学級・学校便りやホームページなどで学校の様子を地域や保護者の皆様にお伝えしています。

今年度になって、今まで以上に学校の情報を皆様に分かりやすく



お伝えし、学校を身近に感じていただくために、これまでのホームページをリニューアルしました。学校生活の写真を多く掲載しており、この学校便りもカラーで見ていただくことができます。まだご覧になられていない方は、「岡山市立三勲小学校」で検索して、是非一度ご覧ください。

<子ども相談主事・スクールカウンセラー>

岡山市では今年度から、すべての学校に、月1回3.5時間、子ども相談主事が勤務しています。子ども相談主事の役割はいじめ、問題行動、不登校、児童虐待、子どもの貧困等の子どもに関する課題を早期に発見し、学校とともに支援したり、支援機関に繋いだりするというものです。

本校担当の子ども相談主事は以前勤務されていた則武尚子先生です。時間が合えば家庭訪問を行うこともできます。

また、スクールカウンセラーも常時勤務ではありませんが、宇野小学校を拠点校としている兒山志保美先生が月1回3時間、本校に勤務しています。

どちらも勤務日が決まっていますので、相談やカウンセリングをご希望の方は学校までご連絡ください。

<三勲小の一部>



体育館にある「三勲」の書です。この文字は、法界院住職の松坂帰庵和尚の筆で、本校の20周年記念の年、昭和18年5月に揮毫されたものです。

ちなみに、昭和18年の児童数は全校1149人で、現在のほぼ2倍でした。大戦中のこの頃、通学服は小倉の学生服から国防色一色に、女の子はスカートからモンペ姿になり、手作りの防空ずきんをかぶって通学していたそうです。

小学校の名前は住所から付けることがほとんどですが、本校の校名「三勲」は、地名ではなく、操山に社殿があり、楠木正行、和氣清麻呂、児島高德の勤王三神を祭った三勲神社に由来すると言われていいます。今、その神社はありませんが、跡地に標柱が残っているそうです。